

## 清涼寺と愛宕山をつないだ愛宕道沿いの寺社散策と念佛狂言体験

愛宕山の頂上には神仏習合の時代から愛宕権現、勝軍地蔵が祀られ、修験道の道場でした。現在も愛宕神社が鎮座して火難よけの神が祀られ、全国に約九百ある愛宕社の総本山として多くの人々の信仰を集めています。歴史的な逸話や伝説の多い愛宕神社への参道は「愛宕道」として知られています。

今回のコースの起点になっている清涼寺は、「源氏物語」において光源氏が造営した「嵯峨の御堂」のモデルとも目されている寺院です。ここでは通常立ち入ることが出来ない狂言堂において京の三大念佛狂言の一つで、国の重要無形民俗文化財にも指定されている嵯峨大念佛狂言の解説を聞いていただき、希望者には貴重な面付けを体験していただきます。

葬送の地・化野（あだしの）を通る参道には奥嵯峨の見所が数多く点在し、伝統的建造物群保存地区に指定されている嵯峨鳥居本は昔の町並みが残っており、昔ながらの風情と共に独特の雰囲気を感じられます。嵯峨嵐山の知られざる名所『愛宕道』を尋ねてみませんか？



【清涼寺】



【嵯峨大念佛狂言】



【重要伝統的建造物群保存地区】

【日 程】2025年2月12日（水）＜雨天決行＞

【集 合】JR 嵯峨嵐山駅(北出口タクシー乗り場付近)

【時 間】13:00 (出発) ~ 16:30 (解散)

【募集人数】30名 (先着順)

【参加費用】歴史街道倶楽部会員 3,000円 / 一般 3,500円 (税込)

★ガイド、施設入館、ガイドレシーバー、傷害保険等の費用を含みます。

【行 程】JR嵯峨嵐山駅北口＜出発＞…清涼寺※・狂言堂(狂言の解説・面付[希望者のみ]・所作体験)…慈眼堂※…厭離庵※…藤原為家卿之墓※…京都市嵯峨鳥居本街並保存館…愛宕神社一の鳥居…愛宕念佛寺※＜解散＞

※外観のみの見学となります。

【講 師】加納 敬二(かのう けいじ)「嵯峨大念佛狂言保存会 事務局長」

1951年、京都市に生まれる。1976年に、(財)京都市埋蔵文化財研究所に入所。京都市内の平安京跡などの遺跡発掘を約40年間にわたり調査・研究を行ってきた。現在は京都市考古資料館の臨時学芸員として従事している。また2009年から国の重要無形民俗文化財である嵯峨大念佛狂言保存会の事務局長として尽力している。

◆歩行距離：約3km

◆諸事情により内容が一部変更になることがあります。



## イベントのお申込について

歴史街道倶楽部ホームページの申込フォームに会員番号・氏名・住所(一般の方)・電話番号・参加人数を記載の上、各イベント係までお申込ください。

<https://www.rekishikaido.gr.jp/club/event/>

なお、満席の場合を除き、申込受付の返信はいたしませんので、あらかじめご了承ください。開催の2週間前を目途に詳しいご案内、振込用紙を郵送いたします。

お申込はこちら

## お問合せ先

歴史街道推進協議会 歴史街道倶楽部

〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル7階

TEL: 06-6223-7182 / FAX: 06-6223-7234 / E-mail: club-info@rekishikaido.gr.jp

イベント名=「嵐山」

受付終了日=2025年2月4日(火)

主催=歴史街道推進協議会

